

ECサイトにおける不正注文対策

事件捜査で判明した不正注文の特徴を知って、被害を防止しましょう！

長野県警察本部 サイバー捜査課 026-233-0110

1 ECサイトにおける不正注文とは

フィッシング等で入手された他人名義のクレジットカード、デビットカード情報が不正利用された注文をいいます。

注文者や配送先は犯行グループの受け子役等が多数ですが、中には決済名義人のなりすまし注文もあり、配送先が途中で変更される手口もあります。

ECサイトが商品を発送した後に、クレジットカード不正利用が分かった場合、カード会社から代金が得られず（チャージバック発生）、商品をだまし取られる被害に遭います。

2 不正注文の特徴

- 注文者氏名と支払手段の名義が異なる（注文者とクレジットカード名義人、銀行口座名義人が異なる）
- クレジットカード会社から不正注文の疑いがあるとの連絡が入った。
- 転売が容易なIT機器、工具類、化粧品、医薬品等について、多数の注文が入った。
- 商品の特性上、男性の注文がほとんどだった商品に女性からの注文が入った（逆も）
- 注文者の氏名、住所、勤務先、電話番号の一部だけを変更した注文が多数入った。特に、同じ住所で氏名が異なる注文。
詳しくは、2枚目のチェックリストを確認ください。

3 不正注文への対応

- 注文者に連絡して購入意思を確認してから発送
- 連絡が取れない場合は商品を発送しない。
- 3Dセキュア等の利用を検討する。

4 不正注文チェックリスト

チェック欄	項目
<input type="checkbox"/>	注文者氏名と支払手段の名義が異なる注文（注文者氏名とクレジットカード名義人や銀行口座名義人が異なっている）
<input type="checkbox"/>	クレジットカード会社や決済代行業者から、不正注文の疑いがあるとの連絡が入った、又は、リスクが高い注文との評価が付いている。
<input type="checkbox"/>	今まで注文があまりなかった商品に連続して、又は、多数の注文が入った（正規注文の売れ行きから外れる注文）。
<input type="checkbox"/>	転売が容易なIT機器、化粧品、医薬品等の多数の注文。
<input type="checkbox"/>	商品の特性上、男性からの注文がほとんどの商品に対し、女性名義で注文された（その逆も）
<input type="checkbox"/>	注文時のメールアドレスが捨てアドやGmail等でも英数字が羅列され長いアドレスである。
<input type="checkbox"/>	注文者の氏名、住所、勤務先、電話番号の一部だけが変更された注文が多数入った。特に、同じ住所で氏名が異なる注文。
<input type="checkbox"/>	チェックリストに該当したので、配送先住所や電話番号をインターネット検索すると、「不正注文の配送先だった」等の情報がヒットする。
<input type="checkbox"/>	注文時のIPアドレスが海外やプロキシサービスのIPアドレスである。
<input type="checkbox"/>	注文者情報とお届け先情報が、住所、氏名、メールアドレスは一致しているのに、電話番号だけが異なっている（又は入力されていない）。
<input type="checkbox"/>	発送後、お届け先を変更したいとの連絡があった。
<input type="checkbox"/>	過去に不正注文が判明している氏名、住所、メールアドレス、電話番号（全て又は一部）が使われている。
<input type="checkbox"/>	氏名のフリガナが、通常あり得ない読み方となっている
<input type="checkbox"/>	電話番号の桁数が足りない

※ 該当した場合は、注文者に連絡を取り、疑問点が解消されるまで商品発送を控えましょう

